

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公開番号】特開 2010-235546 (P2010-235546A)

【公開日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2010-042

【出願番号】特願 2009-87220 (P2009-87220)

【国際特許分類】

C 07 C 67/60 (2006.01)

C 07 C 67/30 (2006.01)

C 07 C 69/734 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/60

C 07 C 67/30

C 07 C 69/734 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 28 日 (2012.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートに反応して、 - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートを製造する方法であって、  
該製造方法は、反応により得られた反応溶液中の、位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートを誘導体化して蒸留する工程を含むことを特徴とする - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項 2】

前記製造方法は、位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートと不飽和基含有アルコールとを反応させて得た反応溶液中の位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートを誘導体化し、蒸留する工程を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項 3】

前記製造方法は、位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートとして - (ヒドロキシメチル)アクリレートを反応させ、不飽和基含有アルコールがアリルアルコールを必須とすることを特徴とする請求項 2 に記載の - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項 4】

前記製造方法は、酸無水物類、イソシアネート類、無水リン酸類及びエポキシド類からなる群より選択される少なくとも 1 種の誘導体化剤を用いて誘導体化することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートの製造方法。

【請求項 5】

- (不飽和アルコキシアルキル)アクリレートと位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートを含む - (不飽和アルコキシアルキル)アクリレート含有組成物であって、

該組成物全体に対する 位にヒドロキシアルキル基を有するアクリレートの含有割合が 0 . 1 ~ 2 . 7 質量 % であることを特徴とする - ( 不飽和アルコキシアルキル ) アクリレート含有組成物。